

VI-4

難治性多発性骨髓腫に対する少量 thalidomide + 少量 dexamethasone 併用療法

村上博和、半田 寛、安倍正博、飯田真介、石井昭広、石川隆之、石田禎夫、大田雅嗣、尾崎修二、小阪昌明、坂井 晃、澤村守夫、清水一之、高木敏之、畑 裕之、福原 敬、藤井 浩、宮田 明、若山聡雄、高月 清

日本骨髓腫研究会

[目的]日本人における TH の有用性および少量 dexamethasone(DEX)との併用効果を検討した。
[方法]再発・不応 MM を対象とした。TH は、100mg/日より開始し、Grade2 以上の非血液学的毒性ないし Grade3 以上の血液毒性がなければ、1 週間後に 200mg/日に増量し継続。DEX は、4mg/日を 4 週間継続し、以後 1mg/週の割合で減量し、1mg/日で維持。効果は M 蛋白減少率で判定。
[結果]2002 年 12 月より 2005 年 12 月まで、16 参加施設より 66 例が登録された。男性 27 例、女性 39 例、年齢中央値 64.5 歳。病型は IgG48、IgA 6、IgD 1、BJP11 例。前治療は、通常化学療法後 49 例、自己末梢血幹細胞移植後 17 例。50%以上の M 蛋白減少が 13 例 (19.6%)、25%以上の M 蛋白減少が 30 例 (45.5%) に得られた。無進行期間および生存期間中央値は、それぞれ 6.26 ヶ月、23.3 ヶ月であった。有害事象では、末梢神経障害が 7.5%、深部静脈血栓症(DVT)が 4.8%、白血球減少が 12.0%に認められた。
[結論]本併用療法は、TH + DEX 大量療法と同様の有効性を示した。DVT は欧米の報告に比し少なかったが、白血球減少が最も注意すべき副作用のひとつであり、治療開始前白血球数および血小板数の少ない症例に多く見られた。